

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆめの園みらいず天沼新田 児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ~ 2025年 2月 17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日 ~ 2025年 2月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育を軸とし、幅広いプログラムの提供、園庭を活用することで出来る療育の範囲を広げている。 また、放課後等デイサービスの利用者様と一緒に活動することで、多様なコミュニケーションの場となっている。	1か月のプログラムを5領域の中でバランス良く組み立てている。土曜日については、工作活動や外出活動、調理活動など平日では出来ないプログラムを実施している。	ご利用者様やご家族からの要望があれば参考にし、プログラムに取り入れていく。
2	ダンス部の活動をプログラムに入れ、行政や当法人が主催のお祭りや、地域のイベントにダンス参加している。	地域のイベントなどの情報収集、ダンス参加の際はご家族にも見に来ていただけるよう声掛けを行う。 また、参加したイベントの様子をSNS等で発信している。	ダンスのバリエーションを増やしていく。また、今後は以前行っていた高齢者施設への訪問しダンス披露も検討していきたい。
3	地域のスーパーに買い物体験や公園外出、遠足行事や調理活動など行っている。様々なプログラムを行うことで多方面からの自立、社会性、感覚、コミュニケーションなど成長に繋げていく。	調理活動は毎月行う、外出行事は隔月で行うなど機会を多くし、なるべく多くの利用者様に経験していただけるよう実施している。	ご利用者様やご家族からの要望があれば参考にし、プログラムに取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内に段差が多く、バリアフリーになっていない。	一軒家を事業所としている為、馴染みやすさがある反面バリアフリーが難しくハード面では課題が多い。	段差が大きいところは滑り止めやスロープなど、改善可能な部分は対応していく。
2	家族会や、ご家族同士の交流の場が少ない。	交流の機会になるようなプログラムを行えていなかった。	ご家族の意向も確認しつつ、参加型のプログラムを検討していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	交流の機会になるようなプログラムを行えていなかった。	プログラムを通して交流出来る内容を検討し、導入に繋げていく。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：

事業所名：児童発達支援 ゆめの園みらいず天沼新田 児童発達支援・放課後等デイサービス 対象人数（保護者）4人 回答者数 3人 回収 75%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3				
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	3				
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3				
適切な 支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3				
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1			
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3				
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1			
保護者 への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン	1	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		ト・トレーニング等)や家族 等も参加できる研修会や情報 提供の機会等が行われていますか。					
	⑮	日頃からこどもの状況を保護 者と伝え合い、こどもの健康 や発達の状況について共通理 解ができていると思います か。	3				
	⑯	定期的に、面談や子育てに関 する助言等の支援が行われて いますか。	3				
	⑰	事業所の職員から共感的に支 援をされていると思います か。	3				
	⑱	父母の会の活動の支援や、保 護者会等の開催等により、保 護者同士の交流の機会が設け られるなど、家族への支援が されているか。また、きょう だい向けのイベントの開催等 により、きょうだい同士の交 流の機会が設けられるなど、 きょうだいへの支援がされて いますか。		2	1		
	⑲	こどもや家族からの相談や申 入れについて、対応の体制が 整備されているとともに、こ どもや保護者に対してそのよ うな場があることについて周 知・説明され、相談や申入れ をした際に迅速かつ適切に対 応されていますか。	3				
	㉑	こどもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮が なされていると思いますか。	3				
	㉒	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報や 業務に関する自己評価の結果 をこどもや保護者に対して発 信されていますか。	3				
非常時等の対応	㉔	個人情報の取扱いに十分に留 意されていると思いますか。	3				
	㉔	事業所では、事故防止マニユ アル、緊急時対応マニユアル、防犯マニユアル、感染症 対応マニユアル等が策定さ れ、保護者に周知・説明され ていますか。また、発生を想 定した訓練が実施されていま すか。	2	1			
	㉕	事業所では、非常災害の発生 に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練が行われて いますか。	3				
	㉖	事業所より、こどもの安全を 確保するための計画について 周知される等、安全の確保が 十分に行われた上で支援が行 われていると思いますか。	3				
	㉗	事故等（怪我等を含む。）が 発生した際に、事業所から速 やかな連絡や事故が発生した 際の状況等について説明がさ れていると思いますか。	3				
満足度	㉘	こどもは安心感をもって通所 していますか。	3				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	㊸	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3			とても楽しんで通っています。	職員の励みになる温かいお言葉をありがとうございます。
	㊹	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ゆめの園みらいず天沼新田 児童発達支援・放課後等デイサービス		2025年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・バリアフリーではないが、階段の手すりや部屋に名前を付けて解り易くする工夫を行っている。	・現在はバリアフリーが必要な利用者はいないが、今後は必要な状況になる場合もあるので検討していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	ご家族を間に挟む形での伝達をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を回り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会員等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助産等を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの尊厳の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆめの園みらいず天沼新田 児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ~ 2025年 2月 17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日 ~ 2025年 2月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育を軸とし、幅広いプログラムの提供。また、園庭を活用することで出来る療育の範囲を広げている。	1ヵ月のプログラムを5領域の中でバランス良く組み立てている。土祝日については、工作活動や外出活動、調理活動など平日では出来ないプログラムを実施している。	ご利用者様やご家族からの要望があれば参考にし、プログラムに取り入れていく。
2	ダンス部の活動をプログラムに入れ、行政や当法人が主催のお祭りや、地域のイベントにダンス参加している。	地域のイベントなどの情報収集、ダンス参加の際はご家族にも見に来ていただけるよう声掛けを行う。また、参加したイベントの様子をSNS等で発信している。	ダンスのバリエーションを増やしていく。また、今後は以前行っていた高齢者施設への訪問しダンス披露も検討していきたい。
3	地域のスーパーに買い物体験や公園外出、遠足行事や調理活動など行っている。様々なプログラムを行うことで多方面からの自立、社会性、感覚、コミュニケーションなど成長に繋げていく。	調理活動は毎月行う、外出行事は隔月で行うなど機会を多くし、なるべく多くの利用者様に経験していただけるよう実施している。	ご利用者様やご家族からの要望があれば参考にし、プログラムに取り入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内に段差が多く、バリアフリーになっていない。	一軒家を事業所としている為、馴染みややすさがある反面バリアフリーが難しくハード面では課題が多い。	段差が大きいところは滑り止めやスロープなど、改善可能な部分は対応していく。
2	家族会や、ご家族同士の交流の場が少ない。	交流の機会になるようなプログラムを行えていなかった。	ご家族の意向も確認しつつ、参加型のプログラムを検討していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	交流の機会になるようなプログラムを行えていなかった。	プログラムを通して交流出来る内容を検討し、導入に繋げていく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス ゆめの園みらいず天沼新田 児童発達支援・放課後等デイサービス 対象人数（保護者）33人 回答者数 22人 回収率 66.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	4		室内はやや狭いと感じるが、庭があり開放的である。庭でも遊ばせてもらえます。	ご意見ありがとうございます。室内の広さには制限がある為、その分園庭も活用した支援を提供していきます。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1			
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	6	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2			
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22				
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1			
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22			きめ細かい対応をしていただき感謝しています。	
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22			土曜や祝日、長期休暇には、様々なプログラムもあり、有難いです。平日は比較的固定化されてはしまいますが、曜日により違うプログラムは組んで下さっていますので、満足しています！	有り難いお言葉をありがとうございます。平日は同じプログラムでも内容を工夫し、利用者様に楽しんでいただけるよう努めてまいります。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	10	4	地域の産業まつりでは、沢山の地域のお子さんや大人達の前でダンス発表しました。その後おまつりも回って楽しんでいます。 （同じ利用者同士ではありませんが、）地域の様々な学校の子どもたちと交流できている	コロナ禍では出来なかったことが少しずつ可能になってきています。今後も、地域児童との交流の機会を検討していきたいと思っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
						ので、うちは満足しています。	
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営 規程、支援プログラム、利用 者負担等について丁寧な説明 がありましたか。	22				
	⑬	「放課後等デイサービス計 画」を示しながら、支援内容 の説明がなされましたか。	22				
	⑭	事業所では、家族に対して家 族支援プログラム(ペアレン ト・トレーニング等)や家族 等も参加できる研修会や情報 提供の機会等が行われていま すか。	9	9	4	系列事業所さん主催ではあり ますが、勉強会なども企画し て下さっています。 個々の放課後デイでここまで する必要はないと思います。 (むしろ多くの情報を集めて いる行政こそその役割で は・・・?)	系列事業所の情報も把握して いくくださりありがとうございます。
	⑮	日頃からこどもの状況を保護 者と伝え合い、こどもの健康 や発達の状況について共通理 解ができていると思います か。	22			送迎時やHUGなどで、日々 の活動の様子や子どもの状況 を教えてください。	今後も送迎時やHUGでの小 まめな情報共有に努めてまい ります。また、それ以外でも 状況や必要に応じてお電話な どもでお伝えしていきます。
	⑯	定期的に、面談や子育てに関 する助言等の支援が行われて いますか。	21	1			
	⑰	事業所の職員から共感的に支 援をされていると思います か。	22			とても子ども達に寄り添った 関わりをして下さっていて、 安心して利用させて頂いてい ます。	職員の励みになる温かいお言 葉をありがとうございます。
	⑱	父母の会の活動の支援や、保 護者会等の開催等により、保 護者同士の交流の機会が設け られるなど、家族への支援が されているか。また、きょう だい向けのイベントの開催等 により、きょうだい同士の交 流の機会が設けられるなど、 きょうだいへの支援がされて いますか。	5	8	9	↑放課後デイに何もかも求め 過ぎではないでしょうか？こ ういった支援は、障害児の保 護者や「きょうだい」に熟知 されている方(機関)がされ るのが適当だと思います。 特に必要とは思いません。 特に支援はありませんが、そ れによる不利益も感じていま せんので、現状のままで特に 不満はありません。	父母会などの直接的な交流の 機会は難しくとも、日々のご 利用の中で何かあればご家族 やご兄弟の相談に対応する形 で支援をしていきたいと思い ます。
	⑲	こどもや家族からの相談や申 入れについて、対応の体制が 整備されているとともに、こ どもや保護者に対してそのよ うな場があることについて周 知・説明され、相談や申入れ をした際に迅速かつ適切に対 応されていますか。	19	3			
	⑳	こどもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮が なされていると思いますか。	22				
	㉑	定期的に通信やホームペー ジ・SNS等で、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報や 業務に関する自己評価の結果 をこどもや保護者に対して発 信されていますか。	21	1			
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留 意されていると思いますか。	22				
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニユ アル、緊急時対応マニユアル、 防犯マニユアル、感染症 対応マニユアル等が策定され、 保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定 した訓練が実施されていま すか。	15	7			
	㉔	事業所では、非常災害の発生 に備え、定期的に避難、救出	15	7			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		その他必要な訓練が行われていますか。					
	㉔	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	2			
	㉕	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	2			
満足度	㉖	こどもは安心感をもって通所していますか。	22			同じ学校、同じ支援学級のお子さんも多く、とても安心して通えています。	職員の励みになる温かいお言葉をありがとうございます。
	㉗	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1			
	㉘	事業所の支援に満足していますか。	21	1		全体的に丁寧で信頼でき、バランスの取れた事業所さんです。大変満足しています。	職員の励みになる温かいお言葉をありがとうございます。これからもご期待に沿えるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆめの園みらいす天沼新田 児童発達支援・放課後等デイサービス
------	--------------------------------

公表日 2025年 3月 10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・バリアフリーではないが、階段の手すりや部屋に名前を付けて解り易くする工夫を行っている。	・現在はバリアフリーが必要な利用者様はいないが、今後は必要な状況になる場合もあるので検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		年2回、ご利用者様への聞き取り調査とご家族と対面での面談を実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日朝礼を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎日終礼を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		ご利用者様へ専用の聞き取りシートを使用し面談を行っている。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		連絡会や見学会に参加している。
保護者への説明等	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		プログラムとしては行っていないが、面談時にアドバイスや情報提供を行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	4	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		安全計画は作成されているが、周知方法が統一されていないのが現状となっている。今後はご家族へわかりやすい方法を検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			